

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2297200350		
法人名	メディカル・ケア・サービス東海株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム浜松天竜(1階)		
所在地	静岡県浜松市天竜区山東4360-1		
自己評価作成日	平成30年9月10日	評価結果市町村受理日	平成30年12月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kami=true&JigyosyoCd=2297200350-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成30年10月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者の自立支援に力を入れ「ご利用者も、ご家族も、職員も楽しいホーム」を目指しています。日常生活と非日常生活のメリハリをつけています。、その方が持っている力を最大限生かすことができるよう、アセスメントに力を入れて、月内に行われる各会議では認知症の勉強会に力を入れています。事故や、不適切なケアの行われる背景は無知からがほとんどであるとの分析から、朝礼や、夕礼などを含めて繰り返し、支援方法や、待つ介護などを伝えています。ご利用者の生活は、個々の時間と集団リハなど選択できるよう支援し、生け花や、尺八で歌うなど新しいボランティアさんを迎え入れています。デイに来て下さるご利用者様にも、自然にホームになじむことができるよう職員の紹介の仕方や、帰宅時の説明の仕方など統一し、ケアの質の向上に取り組み、また他のGHとの情報共有や、身体拘束の研修会の開催など模索しており、ケアの質の担保に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域においては防災訓練の誘いもあるほか、台風接近では自治会から「いつでも手伝うよ」と応援コールが入り、事業所側も運動会を自治会館でおこなうとともに地域清掃にも参加するなど、地域との相互交流が充実している事業所です。また2年前から始めた共用型デイサービスには教員だったという利用者がいて、「先生、こちらです」と現在も教師であるように接し、脳トレドリルの採点もお願いしています。迎え入れる前に他の利用者には「先生がお客様としておみえになる」と伝え、そういった細やかな配慮が他のデイサービスではなかなか馴染めなかったその人に有用感をもたらしていて、事業所の器量が確認できるエピソードです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼、夕礼にて唱和し、理念の共有に努めている。	理念をベースに何事も利用者を選択してもらうことを大切にしています。例えば入浴後の着替えでは、必ずどの洋服にするか選んでもらうよう図っています。選択することが困難な場合には、2つの洋服の中からどちらを着たいか、2者択一で選びやすいようにもしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の行事や、ボランティアとしてホームを訪問して下さる機会が増えた。	地域とは防災や清掃、祭りといった行事で連携がつけられ、現在では子どもたちとの交流にも弾みがあります。保育園の散歩コースの立ち寄り場所として2週間に1度の定期訪問があり、中学生10数名の来訪では運動会の準備や草取りを利用者と仲良くこなっています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護予防体操「ふまねっと」や、認知症についての講義、認知症サポーター要請講座などの開催や、ホーム前のチラシなどで、活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	情報を多数に公開し、ホームでの取り組みの理解と協力をお願いしている。	自治会長、民生委員2名、社協・高齢者相談センター職員、家族6～7名が出席くださり、時には薬剤師や他事業所職員が加わり、10名を下回ったことがないという盛況ぶりです。訪問歯科には「口腔ケアの必要性～」との講話をお願いしたり、会議内容も毎回工夫を凝らしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	浜松市役所介護保険課や区役所など関係省庁へ連絡を密にとり、確認をとったり、区役所からの依頼で認知症サポーターの講座、職員教育など関係構築に努めている。	市役所窓口には、運営推進会議の年間計画や議事録を届けたり、相談にも出向いています。区役所に依頼され、高齢者に対する接し方などについて区役所職員への研修もおこなうとともに、認知症サポーター養成講座も3回実施しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修など2ヶ月に1回は全体会議などで行い、朝礼や、夕礼などにてタイムリーに考える場を設けている。	四半期に1度、管理者と各ユニットの職員1名とで身体拘束廃止委員会を実施しています。議事録にて、『帰宅願望や入浴拒否が強い利用者に対して、普段の関わりの中で、スピーチロックをせずに利用者本人のストレス軽減を～』等、対策がとられていることが確認できます。	議事録は必ず職員が全員閲覧のうえ署名がされていますが、改正では「運営推進会議内で実施可」となっていますので、そのことも改めて含み多人数開催となればなお良いと思います
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束の研修など2月に1回は全体会議などで行い、朝礼や、夕礼などにてタイムリーに考える場を設けている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見制度について高齢者相談センターなどと連携し、確認し、ホーム内には個人の特定がない中で共有し、注意喚起をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や、見学时に丁寧な説明と、関係するケアマネや、相談員などと連携しご理解ご納得いただけるよう支援している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	会社で行われるご家族様アンケートや、ホーム玄関に設けたご家族ご意見箱、ご家族様のご来訪時お聞きするなどして運営に生かす努力をしている。	家族から「いつ入浴しているのか～」等の声が挙がったため、毎月の事業所通信「キセキレイ」には、その月の入浴日とともに実際の入浴の様子も記載するよう変更しています。また前回(一昨年)の外部評価を通じての家族意見も現在は改善されていて、是正への取組みが確かです。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員に行事担当を設け、内容の検討や意見を求めて反映している。	管理者が何事にも積極的でややリードが強いことを省みて、「職員が自ら考え、計画し、実行していくように」と昨年からのボトムアップでの運営へと少しずつ移行しています。まだ試行錯誤ですが、行事の計画、実施における相談や質問、意見が管理者に聞こえるようになり、前進しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	処遇改善や、職員の時間的な管理を行い、環境改善に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修会を行う機会を設け、法人が行う研修に加え、ホーム内にて必要と思われる研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議を通じて他の事業所の取り組みや、一緒に研修会を行うなどの関係の構築を図っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人と早期に会う機会を設け、ご本人の状況把握に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安やニーズをお聞きすることにより具体的なサービスの提案をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族、ケアマネ、などを含めて必要なサービスを見極め、具体的なサービス構築、他サービスのご紹介などにつなげている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者同士の関係の構築のため、職員が必要に応じて会話をつなぐなどの介入を行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	細かいご連絡につとめ、ご家族と職員とでご本人を支える努力をしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人のご要望をご家族と一緒に検討し、できる範囲で関係継続に努力している。	理美容をはじめかかりつけ医においても昔馴染み続ける利用者がいます。家族は通院介助が大変なため事業所の協力医に変更したいものの、本人の希望が大変強く、医院待合室では近所づきあいをしていただいていた旧知の人たちと懐かしい話で盛り上がり、本人の励みになっています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係に注意を払い、介入しながらも、ご利用者同士で関係の改善を図ることができるよう支援している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族様からのご要望があれば、ご相談に応じるなど配慮している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活あらゆる場面でご本人様との会話や、行動の分析により、ご意向の把握に努めている。	「眠れない」という利用者に夜勤者が話につきあったところ生い立ちを語り出し、「こういう性格だから～迷惑かけると思うけどわかってほしい」と胸襟を開いた例や、神社のお参りでは「早くお迎えがきますように」と冗談を言ったりと、何気ない日常の言葉は介護記録に残しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族への聞き取りや、日々のアセスメント、記録などから、サービスの効果について検討会(ユニット会議)を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者お一人お一人の状態の把握につとめ、ご自身の望む時間の過ごし方ができるよう支援している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各ご利用者の居室担当が作成した気づきシートやアセスメント表を元にカンファレンスを行い、チームとしてご利用者を支援するための計画書を作成している。	居室担当者が、利用者の最近の様子や困っていること、支援できることなどを記入できるようフォーマットされた「気づきシート」を備えています。ユニット会議ではこの情報を基に検討し、新たな情報は赤字で加筆修正され、これらを基に介護計画書が作成されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録や、モニタリングを毎日行い、ケアの振り返りや職員間の情報共有に役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な対応ができるよう話し合い、心がけている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域にある、自治会館の利用や、保育園の散歩コースにしていたりしている。また地域の清掃や地域との防災訓練に参加したりして地域との交流を深めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者の今までの治療経過の継続、かかりつけ医との関係、ご家族の意向を反映しながら、医療支援を行っている。	今年から新たに協力医が交替しています。在宅の頃からのかかりつけ医に通う4名は家族の通院介助も難しくなり、職員が支援することが殆どです。担当の薬剤師は仕事ぶりも良好ですが、運営推進会議に出席してくれるため、家族からも「安心」との声が届いています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週看護師出勤時には、薬剤師や、作業療法士などの意見を参考に、バイタルサインや、状況などを共有し、必要な医療を適切に受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院関係者との情報共有、ご家族との情報確認に努め、必要な支援を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期についての丁寧な説明に努め、ご家族のご希望、医療関係者との連携に努めている。	「看取りはおこなう」との方針はあるものの、実際は医療が必要となったり、急変で看取りに至らない例が続いています。事業所としても、他の利用者へのケアサービスが疎かになるとの懸念が払しょくできず、悩ましい状況にあります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故や急変時などの対応について、各会議の場や、朝礼、夕礼時に必要な対応について確認している。また半年に1回消防署に依頼し、急変時の対応などについて講義、実践の時間を設けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域や浜松市とともに、避難マニュアルの策定、避難訓練の実施、運営推進会議にて地域との連携について確認している。	消防署立ち合いの法定訓練2回のほか、緊急連絡網とAEDについて1回ずつ、2回実施しています。本年、浜松市土木課に『風水害マニュアル』を届け出るとともに、9月の広域大停電を契機として、ランタンを各ユニット3台、計6台の購入を決めています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊重を重視し、尊厳あるケアに向けて努力している。	美味しそうな匂いも追い風となって賑わいのあるリビングに独りソファで休む男性利用者に対して、食卓に着かせようと無理強いせず、それとなく様子を見ている職員の姿からは、「本人が食べたい時に～」との気遣いが覗え、総じて本人本位のゆとりある対応が見られます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のご意向の把握、傾聴につとめ、ご利用者が自己選択できるようご本人のアセスメントから配慮、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務フローの見直しをかけ、ご利用者の希望優先の生活支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者のお好みに応じて、ご家族様を交えて衣類の整理に努め、季節に合った衣類の選択ができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の配膳や、盛り付けなどご利用者の持てる力を生かしていただけるよう配慮し、職員とともに配膳できるよう支援している。	元調理師だったという男性を含み2名の調理専任者が丁寧に毎回食事提供をおこなっています。自前のエプロンや三角巾を備え、おしぼりや食器の準備、盛り付けを手伝う利用者もいます。豆腐で作ったおやつのみたらし団子は好評で、タレは利用者の指導の賜物です。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者の体重測定を毎月行い、また主治医などからの分析や情報を共有しながら一人一人の状態把握に努め、必要な支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けを行い、口腔内の清潔が保てるよう努力している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	各ご利用者の歩行能力や、排泄機能などのアセスメントに基づき、トイレで気持ちよく排泄できるよう支援している。	一旦オムツとなると回復が難しくなるため、「可能な限りトイレ」を慣行しています。『利用者がフロアを歩いているとき、ついでを装ってトイレに誘う』との自然な形の誘導に努め、「椅子に座っている人をわざわざ立ってもらおうというようなことはやめよう」を職員の共通認識としています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腸内環境を整えるフェカリス菌を食事時に混ぜたり、オリゴ糖の活用や、飲むヨーグルトの引用などしながら、ここに必要な支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴時間を配慮したり、声掛けの工夫、入浴の記録によって声掛けの工夫、ご家族様からのアプローチなどの支援に努めている。	洗身タオルは個人の物で、足拭きマットも個毎に替え、湯も一人ひとり入れ替えていて、清潔に尽力しており、脱衣所、浴室も大変気持ちの良い空間です。夜間入浴を希望する利用者が各ユニット1名ずつ計2名いて、気持ちに合わせるため職員が業務調整をおこない対応しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者の意向に沿った入床支援を行い、ご利用者が安眠できるよう環境について配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者のお薬情報を1冊にまとめ、服薬時にすべてをWチェックするよう支援している。ユニット会議時に服薬内容の確認と副作用の確認、日々の申し送りなどで体調の変調について薬剤師に相談するなど状態把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者お一人お一人が役割を持ち、自分の居場所を確立していただき保有能力を最大限生かしながら、認知機能の低下を緩やかにできるよう支援している。ストレスの軽減を図ることができるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人のご希望に沿い外出支援ができるよう配慮している。必要に応じてご家族にもご相談させていただきながら支援している。	職員が車を使う用事があれば声をかけての外出は週1回程あり、4~5名が限度のため、偏らないようにと留意しています。散歩は週1度程度ですが、「○○を買いたい」となれば職員と連れだって出かけています。またネオパーサへの食事&買い物は定着し、半年に1度重ねられています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者がお金を自身でお支払いできるようにご本人の意向をお聞きしながら、支援している。またご本人が希望される金額の範囲で自由に使うことができるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者のご希望に沿い、ご家族様に了解を得て自由に電話できるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活の場としてふさわしい明るく清潔な空間であるよう配慮しながら環境整備を行っている。季節感を感じていただけるような掲示物の作成や、カレンダーなどにて見当識に働きかけを行っている。	大勢のなかで過ごすのが苦手な人で静かに居たい人もいるほか、騒々しい場面に遭遇したとき逃げ場となるよう配慮された白いソファの設置が在ります。また小さな水槽に泳ぐ金魚には利用者が餌をあげたり、時にはそっと話しかけたりしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の奥に椅子を置いたり、ソファを離れた位置に置いたりしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内はご家族とご利用者様にて、今まで使い慣れたものをお持ち込みいただくよう支援している。またご利用者の状態に応じて必要な物品をご提案している。	手芸倶楽部に所属していたという人の部屋の壁にはキルトのタペストリーが下がり、他の居室にも仏壇や鏡台、ミシンが置かれていて、共に人生を歩んできたものへの愛着が伝わってきます。特に鏡台に被せられた布には、その人が「大切にしています」と語っているように感じられます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の安全に配慮しながら、ご利用者自身で、塗り絵や色鉛筆など用意できるように工夫している。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2297200350		
法人名	メディカル・ケア・サービス東海株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム浜松天竜(2階)		
所在地	静岡県浜松市天竜区山東4360-1		
自己評価作成日	平成30年9月10日	評価結果市町村受理日	平成30年12月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2017_022_kami=true&JigyosyoCd=2297200350-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成30年10月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

2階のユニットは、壁面飾りや、誕生会に工夫をしているユニットです。各個が持てる力を十分発揮していただけるようその方ができることや、やりたいことを常に把握し、取り組んでいただけるよう努力しています。チーム力は強く、またユニット会議での決定事項は、各自が遂行するよう、職員一人ひとりが努力し、事象についての対応を都度話し合うことができるよう努力しています。MMSEのテストでは、2年たっても19点のままであったり、6点で入居された方が9点に上がったりと、医師の評価もよく信頼されております。今期は、さらに認知症や、不適切なケアについて学ぶ機会を設けて、さらにパワーアップできるよう努力したいと考えます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域においては防災訓練の誘いもあるほか、台風接近では自治会から「いつでも手伝うよ」と応援コールが入り、事業所側も運動会を自治会館でおこなうとともに地域清掃にも参加するなど、地域との相互交流が充実している事業所です。また2年前から始めた共用型デイサービスには教員だったという利用者がいて、「先生、こちらです」と現在も教師であるように接し、脳トレドリルの採点もお願いしています。迎え入れる前に他の利用者には「先生がお客様としておみえになる」と伝え、そういった細やかな配慮が他のデイサービスではなかなか馴染めなかったその人に有用感をもたらして、事業所の器量が確認できるエピソードです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼、夕礼にて唱和し、理念の旧友に努めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事や、ボランティアとしてホームを訪問して下さる機会が増えた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護予防体操「ふまねっと」や、認知症についての講義、認知症サポーター要請講座などの開催や、ホーム前のチラシなどで、活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	情報を多数に公開し、ホームでの取り組みの理解と協力をお願いしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	浜松市役所介護保険課や区役所など関係省庁へ連絡を密にとり、確認をとったり、区役所からの依頼で認知症サポーターの講座、職員教育など関係構築に努めている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修など2月に1回は全体会議などで行い、朝礼や、夕礼などにてタイムリーに考える場を設けている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束の研修など2月に1回は全体会議などで行い、朝礼や、夕礼などにてタイムリーに考える場を設けている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見制度について高齢者相談センターなどと連携し、確認し、ホーム内には個人の特定がない中で共有し、注意喚起をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や、見学時に丁寧な説明と、関係するケアマネや、相談員などと連携しご理解ご納得いただけるよう支援している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	会社で行われるご家族様アンケートや、ホーム玄関に設けたご家族ご意見箱、ご家族様のご来訪時お聞きするなどして運営に生かす努力をしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員に行事担当を設け、内容の検討や意見を求めて繁榮している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	処遇改善や、職員の時間的な管理を行い、環境改善に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修会を行う機会を設け、法人が行う研修に加え、ホーム内にて必要と思われる研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議を通じて他の事業所の取り組みや、一緒に研修会を行うなどの関係の構築を図っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人と早期に会う機会を設け、ご本人の状況把握に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安やニーズをお聞きすることにより具体的なサービスの提案をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族、ケアマネ、などを含めて必要なサービスを見極め、具体的なサービス構築、他サービスのご紹介などにつなげている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者同士の関係の構築のため、職員が必要に応じて会話をつなぐなどの介入を行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	細かいご連絡につとめ、ご家族と職員とでご本人を支える努力をしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人のご要望をご家族と一緒に検討し、できる範囲で関係継続に努力している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係に注意を払い、早期に介入し、ご利用者同士の微妙な関係を把握し、支援方法、声掛けの順番など工夫している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族様からのご要望があれば、ご相談に応じるなど配慮している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活あらゆる場面でご本人様との会話や、行動の分析により、ご意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族への聞き取りや、日々のアセスメント、記録などから、サービスの効果について検討会(ユニット会議)を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者お一人お一人の状態の把握につとめ、ご自身の望む時間の過ごし方ができるよう支援している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各ご利用者の居室担当が作成した気づきシートやアセスメント表を元にカンファレンスを行い、チームとしてご利用者を支援するための計画書を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録や、モニタリングを毎日行い、ケアの振り返りや職員間の情報共有に役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な対応ができるよう話し合い、心がけている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域にある、自治会館の利用や、保育園の散歩コースにしていたりしている。また地域の清掃や地域との防災訓練に参加したりして地域との交流を深めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者の今までの治療経過の継続、かかりつけとの関係、ご家族の意向を反映しながら、医療支援を行っている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週看護師出勤時には、薬剤師や、作業療法士などの意見を参考に、バイタルサインや、状況などを共有し、必要な医療を適切に受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院関係者との情報共有、ご家族との情報確認に努め、必要な支援を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期についての丁寧な説明に努め、ご家族のご希望、医療関係者との連携に努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故や急変時などの対応について、各会議の場や、朝礼、夕礼時に必要な対応について確認している。また半年に1回消防署に依頼し、急変時の対応などについて講義、実践の時間を設けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域や浜松市とともに、避難マニュアルの策定、避難訓練の実施、運営う維新会議にて地域との連携について確認している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊重を重視し、尊厳あるケアに向けて努力している。またご利用者から指摘のあった内容の把握につとめ、2F職員全員が共通の認識で支援できるよう努力している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のご意向の把握、傾聴につとめ、ご利用者が自己選択できるようご本人のアセスメントから配慮、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務フローの見直しをかけ、ご利用者の希望優先の生活支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者のお好みに応じて、ご家族様を交えて衣類の整理に努め、季節に合った衣類の選択ができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の配膳や、盛り付けなどご利用者の持てる力を生かしていただけるよう配慮し、職員とともに配膳できるよう支援している。片付けはご利用者みんなの洗いたい気持ちに配慮し、当番制にしながらできることをやっていただけるよう支援している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者の体重測定を毎月行い、また主治医などからの分析や情報を共有しながら一人一人の状態把握に努め、必要な支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けを行い、口腔内の清潔が保てるよう努力している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	各ご利用者の歩行能力や、排泄機能などのアセスメントに基づき、トイレで気持ちよく排泄できるよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腸内環境を整えるフェカリス菌を食事時に混ぜたり、オリゴ糖の活用や、飲むヨーグルトの引用などしながら、ここに必要な支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴時間を配慮したり、声掛けの工夫、入浴の記録によって声掛けの工夫、ご家族様からのアプローチなどの支援に努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者の意向に沿った入床支援を行い、ご利用者が安眠できるよう環境について配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者のお薬情報を1冊にまとめ、服薬時にすべてをWチェックするよう支援している。ユニット会議時に服薬内容の確認と副作用の確認、日々の申し送りなどで体調の変調について薬剤師に相談するなど状態把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者お一人お一人が役割を持ち、自分の居場所を確立していただき保有能力を最大限生かしながら、認知機能の低下を緩やかにできるよう支援している。ストレスの軽減を図ることができるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人のご希望に沿い外出支援ができるよう配慮している。必要に応じてご家族にもご相談させていただきながら支援している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者がお金を自身でお支払いできるようにご本人の意向をお聞きしながら、支援している。またご本人が希望される金額の範囲で自由に使うことができるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者のご希望に沿い、ご家族様に了解を得て自由に電話できるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活の場としてふさわしい明るく清潔な空間であるよう配慮しながら環境整備を行っている。季節感を感じていただけるような掲示物の作成や、カレンダーなどにて見当識に働き替えを行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の奥に椅子を置いたり、ソファを離れた位置に置いたりしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内はご家族とご利用者様にて、今まで使い慣れたものをお持ち込みいただくよう支援している。またご利用者の状態に応じて必要な物品をご提案している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の安全に配慮しながら、ご利用者自身で、塗り絵や色鉛筆など用意できるよう工夫している。		